

# 環境影響評価書

— 東武伊勢崎線・都市高速鉄道第11号線直通化事業 —

(本編・資料編)

平成8年8月

東武鉄道株式会社

## 1. 総 括

### 1.1 事業者の名称及び所在地

名 称：東武鉄道株式会社

代表者：取締役社長 内田隆滋

所在地：東京都墨田区押上一丁目1番2号

### 1.2 対象事業の名称及び種類

名称：東武伊勢崎線・都市高速鉄道第11号線直通化事業

種類：鉄道の新設

### 1.3 対象事業の内容の概略

本事業は、東武鉄道伊勢崎線曳舟から都市高速鉄道第11号線として計画されている押上駅（仮称）までの区間において、帝都高速度交通営団との相互直通運転を行うための連絡線を建設するものである。なお、本事業区間において駅舎は築造しない。

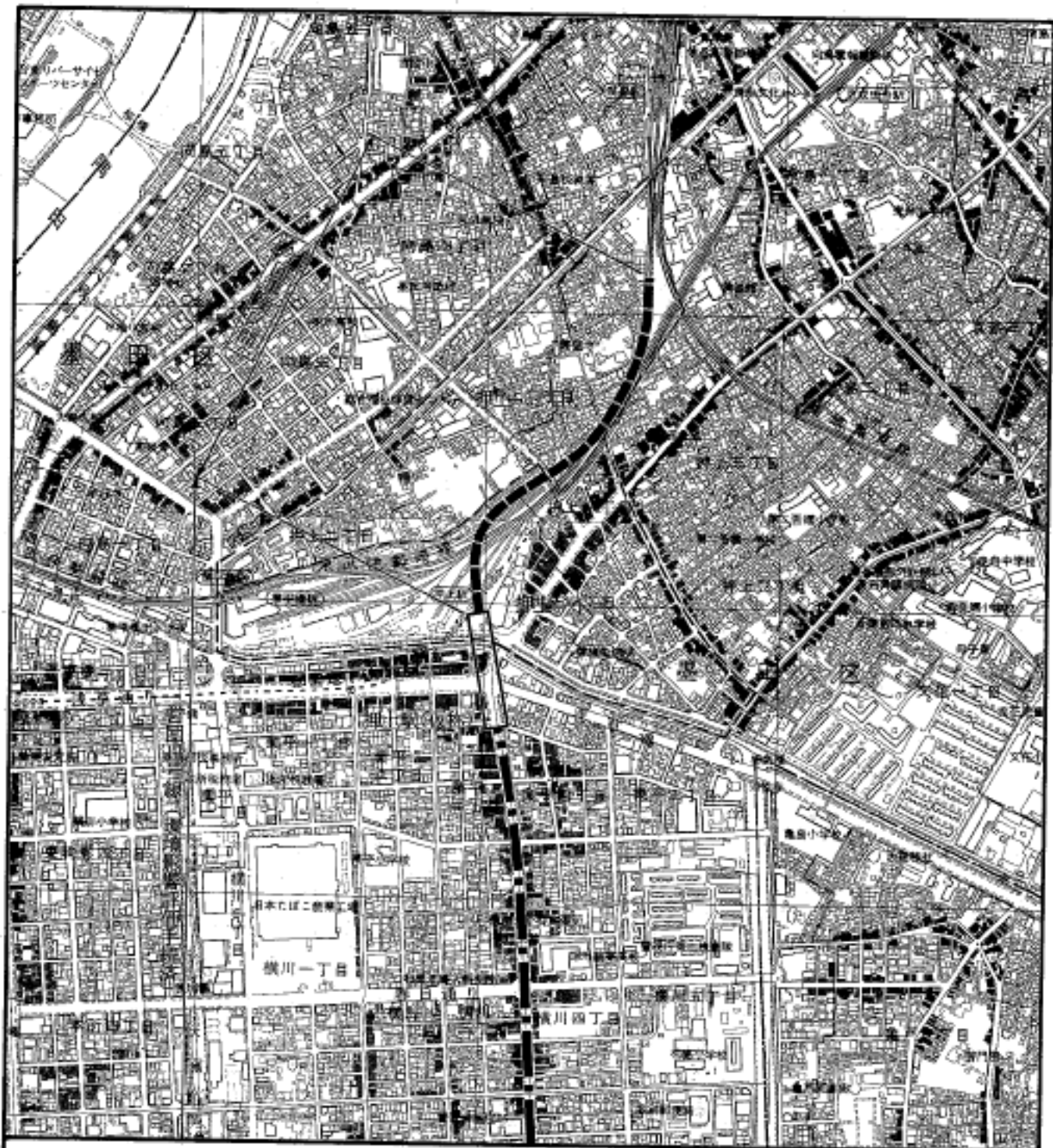
本事業の事業計画の概要は、表1-3-1に示すとおりである。

表1-3-1 事業計画の概要

項 目	内 容
区 間	墨田区押上二丁目から墨田区押上一丁目まで
延 長	約640m（掘削部：約200m、トンネル部：約440m）
駅	なし
単・複線の別	複線
軌 間	1,067mm
軌 条	60kg/m
動 力	電力（直流1,500ボルト）
工事予定期間	平成8年度～平成12年度
完成予定年度	平成12年度

### 1.4 位置及び区域

計画路線の位置及び通過沿線の町丁名は、図1-4-1に示すとおりである。



凡 例

----- 町丁界

----- 区 界

———— 計画路線

— · — · 営団11号線 (環境影響評価手続済)

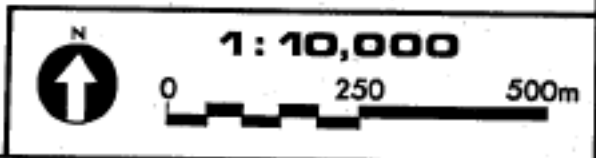


図 1-4-1 計画路線位置図

### 1.5 環境に及ぼす影響の評価の結論

計画路線周辺の現況及び事業計画の内容等を考慮して予測・評価項目を選定し、現況調査、予測及び評価を行った。

環境影響評価の結論の概要は、表1-5-1に示すとおりである。

表1-5-1 環境影響評価の結論の概要

予測・評価項目	結論の概要
1. 騒音	<p>工事の施行中、建設作業の騒音予測値は72dB(A)～85dB(A)であり各工種とも騒音規制法の規制基準及び東京都公害防止条例に基づく勧告基準以下である。なお、工事の施行にあたっては、低騒音型建設機械を採用するとともに、作業時間の調整など、環境保全対策に十分配慮する。</p> <p>工事の完了後の列車走行に伴う騒音の予測値は、敷地境界の地上1.2mで68dB(A)であり、現況値を下回る。</p> <p>なお、仮に「新幹線鉄道騒音に係る環境基準について」で定められている商業及び工業系の地域（II類型）における基準値75dB(A)を評価の指標とした場合でも敷地境界における予測値は、これを下回る。</p>
2. 振動	<p>工事の施行中、建設作業の振動予測値は43dB～66dBであり、各工種とも振動規制法の規制基準及び東京都公害防止条例に基づく勧告基準以下である。なお、工事にあたっては、振動の少ない工法の採用等、環境保全対策に十分配慮する。</p> <p>工事完了後の列車走行に伴う振動の予測値は敷地境界で54dB～57dBであり、現況値と同程度またはそれを下回るものとする。なお、仮に「環境保全上緊急を要する新幹線鉄道振動対策について（勧告）」に定められている基準値(70dB)を評価の指標とした場合でも、敷地境界における予測値は、これを下回る。</p>
3. 地盤沈下及び地形・地質	<p>工事の施行中においては、掘削にあたり剛性・遮水性の高い土留め（地下連続壁、柱列式地下連続壁（S型）等）を採用し、周囲の地盤沈下につながるような地下水位の低下を生じさせないように努める。また、埋戻しについては、十分な施工管理を行うため、周辺に地盤変形が生じないものとする。</p> <p>工事の完了後においては、被圧地下水については帯水層よりも浅い部分に構造物が計画されているため影響はほとんどない。また、不圧地下水については地下水の流動がきわめて緩慢と考えられることと、極力地表下3.5mまで土留壁を撤去し、通水性のある材料で入念な埋戻しを行うことから地下水への流動阻害の影響はほとんど生じないものとする。</p>

## 1.6 評価書案の修正の概略

評価書案の修正の概略は、表1-6-1に示すとおりである。

表1-6-1 修正の概略

頁数	修正箇所	修正事項	修正内容
29	本編 3. 地域の概況 3.1 一般項目 3.1.7 関係法令の指定及び規制等	用途地域図	都市計画法の改正に伴い、用途地域の変更を行った。
45	4. 予測評価項目の選定 4.2 選定しなかった項目及びその理由 (1) 大気汚染	選定しなかった理由 —	工事の完了後、トンネル内においては特別な排出源がない旨の記述を追加した。
46	(3) 水文環境	選定しなかった理由	帯水層の位置や地下構造物の深さ等の記述を追加した。
53	5. 現況調査、予測及び評価 5.1 騒音 (1) 現況	法令による基準等	環境基準等の地域の類型を、都市計画法の改正に伴って変更した。
59	(2) 予測	予測方法	建設機械の騒音パワーレベルを求める点音源距離減衰式を追加した。
68	5.2 振動 (1) 現況	法令による基準等	振動規制法等の地域の類型を、都市計画法の改正に伴って変更した。
77	(2) 予測	予測結果	トンネル部での敷地境界における鉄道振動レベルの現況値の記述を追加した。
94 95 97	5.3 地盤沈下及び地形・地質 (2) 予測	予測結果	地盤改良の範囲及び地盤改良を行った場合の効果について、記述を追加した。
97	(2) 予測	標準横断面	圧密試験による透水係数を追加した。
98	(2) 予測	予測結果	ボーリング地点No. 3における各地層の透水係数及び粘着力等の記述を追加した。
26	資料編 3. 予測評価項目の選定 3.2 業平橋駅構内改良工事における現況調査、予測及び評価	選定しなかった理由	業平橋駅構内改良工事における高架構造物による日照障害、電波障害及び景観への影響の程度の子測結果等を追加した。